人事・労務・経営、安全衛生の情報発信で時代をリードする
労働新聞社

# 専門性高い人材　採用活動開始日前倒し　８年春卒業者から　政府

2023.04.27 【労働新聞 ニュース】

## インターン参加を条件に

政府は、令和８年春卒業予定の学生の就職・採用活動について、専門性が高い学生の採用選考開始日を前倒しする方針を決定した。対象は、卒業年度の直前の春休みに２週間以上の日程で行われる「専門活用型インターンシップ」に参加し、専門性が高いと判断された学生。要件を満たした学生に対しては、政府の現行ルールで大学４年の６月１日以降としていた選考開始日を３カ月前倒しし、大学３年の３月から行えるようにする。

学生の就職・採用活動の日程は毎年、政府がルールを決定したうえで、ルールに沿った対応を企業に要請している。このほど、内閣官房や厚生労働省などの連名で、1267団体を対象に令和７年春卒業予定者の採用活動日程の遵守を要請した。併せて、８年春卒業予定者の採用活動について、専門性の高い学生の選考日程を弾力化する方針を通知している。

現行の日程ルールでは、説明会の開催など広報活動の開始を大学３年３月１日以降、面接など採用選考活動の開始を大学４年６月１日以降、正式な内定日を同10月１日以降と定めている。

８年春卒業予定者の採用活動では、原則として現行の日程を維持するが、要件を満たした人材に限り、３月の広報活動開始日以降、採用選考活動を行えるようにする。現行の選考開始日である６月を待たずに内々定を出すことも可能になる。

日程の前倒しは、大学４年になる直前の春休みに実施する「専門活用型インターンシップ」に参加した学生を対象とする。専門活用型インターンシップとは、企業が行うキャリア支援活動の類型として昨年４月に産学協議会が定義した「タイプ３（汎用的能力・専門活用型インターンシップ）」のうち、２週間以上の日程で実施するもの。日程の半分は職場での就業体験が必要になる。

選考時期の前倒しを希望する企業は、インターンシップの実施に当たり、就業体験において学生に求める大学での学修成果水準、専門的能力と、新卒一括採用での採用予定人数――を自社ホームページなどで公表しなければならない。そのほか、プログラムの趣旨や、実施時期・期間、場所、募集人数、選抜方法、無給・有給の別なども示す必要がある。

経団連が今年３月にまとめた企業向け調査によると、５年度にタイプ３のインターンシップを実施する予定の企業は56.2%。予定している内容について個別に回答があった205件を集計したところ、５日～２週間未満の汎用的能力活用型が71%で、専門活用型インターンシップが29%となっている。

**関連キーワード：** 政府 専門人材 大卒 採用活動 インターンシップ 新卒採用 経団連

労働新聞 令和5年5月1日第3399号1面 掲載

労働新聞社Webサイトに掲載の記事、写真、図画、動画、音声等の著作物・コンテンツの著作権は、当社または執筆者等正当な権利を有する第三者に帰属しています。また、これらの無断複製・転載を禁じます。
Copyright © 1999 - 労働新聞社　All rights reserved.